

## 【高4期】高校4期生の振り返り 三宅陸郎 2024/2/20

生年月日 昭和8年11月18日 90歳

学歴とその他 横浜市中区吉野町 横浜市立日枝小学校、県立横浜第三中学校、横浜市市大文理学部数学科卒  
横浜市外郭団体スケート場内レストラン支配人「東急グループ」

学歴他 日枝小（箱根に集団疎開）卒。体調悪く横浜帰宅横浜大空襲を体験黄金町駅の公衆便所で助かる）  
空襲で黄金町駅の公衆便所で辛うじて助かる母は大やけどした。目の前の橋の上で若夫婦が焼かれ崩れてゆく  
上大岡に流れ着き長屋の玄関で暮らした。学校から先生が来て無理やり箱根芦之湯の集団疎開の場に戻された  
終戦 日枝小学校に通い勉強の場に3年ぶりに開催されたが中学校受験の勉強が始まった終戦6年次には  
憲兵士官が解除され教師として赴任された。

私は腎臓病にかかり担任に個人勉強をいただいた。西山先生です。

先生のお勧めで神奈川県立3中に受験お蔭様で合格中学生となりました。

中学時代高校時代は半分遊びで先生が揃わないし校舎も本牧中学は小学校の間借り（学校3か所に別れていた）  
散々小学校の先生にいじめられた。

（校長先生は3か所を歩きまわり、校舎再建に県に歩きまわり、体調も悪くなり、元の場所に建設が決まった時点で退職し故郷東北に帰った。私は余りに悲惨な退職を感じご自宅にお伺いしたら先生は田舎に行く気力も失せていた。

担任の西山先生も涙を流して泣いていた（現役時代の憲兵姿はなかった）校長が腰を折り腰を折り県と交渉して  
今の校舎の建築を作ることを県に認めさせた。私は忘れない。大事な大事な事でした。

横浜市大時代

親友の横江（のち東大の助教授）が生物に、新堀（後県会議員）は商学部、文理学部に入った。新堀と一緒に市  
大を盛り上げようと言った。新堀は商学部、横江は生物、お前は数学だと。

一緒に市大を盛り上げよう！そこでまずは（金予算だ）部活費用は今までは合格者が手続きの時意志がある人  
にお願いするのが今までの方法でしたが、これからは入学金と同時に部活費用を納めることまた同時に学生はど  
れかの部に所属することにした。変更には商学部の一部の人が反対したが可決したその結果年度で予算がたてられ  
なぜ今までできなかったか。（想像して欲しい一部の有力者が立ち計らった）今は笑話として水に流そう！予算  
がたてられた。最初の実績は野球部、山岳部、駅伝などに多大な盛り上がった。（文学部が盛り上がった。新聞部  
など大学が活気づいた。皆の顔が明るくなって！新聞部、山岳部、陸上部、地味な文学部も活気がでた。学校が  
活気づいた。箱根駅8位、大学野球部全国大会準決勝など青春のエネルギーが燃えた。悲しい事件として山岳部  
の遭難など起きたがその手当としてヘリコプターが依頼できた。

勿論すべてが良いとは思いませんがある先生が笑顔で活気がでたねと。その言葉が私の勲章だと大切に心に入  
れた。私の人生は波乱万丈だけど難しい時には誰かが助言したり力を貸してくれる（本当にありがたい、感謝感謝  
です）

中学入試時代からの高校卒業までの動き

横浜市電、尾上町から本牧1丁目まで（まもなく本牧3丁目まで市電は開通、間もなく間門まで開通した）

中学時代は本牧4丁目から間門まで徒歩で通学した。しかし間門小学校での間借りは変わらない。色いろ問題は  
あったが先生のご努力で暮らした。どんな理由か分からないが高等小学校に移動した。多分校長先生のご努力で  
占領された三中に近い学校の間借りができたのではないかと思います（その間本間校長は必死で県とやアメリカ駐留  
隊の縮小を交渉に全力を注いだと考える。廊下で会った時は疲れの顔でした、それが印象に深く残っている（廊  
下や階段も使用してはいけなところもあり生徒は駆け足でおるから高等小学校から苦情が来ていた

まさに校長は心身とも疲れつかれていたと思います同時に旧校舎の変改を県や国そして駐留外国軍隊に申し入れる（当然敗戦国の立場で申し入れるから神経は使かう。並みの神経ではできない）が話は通るはずがない

（日本は負けたのだから！しかし学校に行けば狭い広場で生徒がいる。肩と肩がぶつかる所でバスケをしているどれだけ校長の心は辛いでしょう。高等小学校の先生に叱られ申し入れられる、時には生徒に直接小学校の先生が叱る。トイレは校舎内は使えない。外のトイレだけ！冬はもたない。しかられても外でする、先生に叱れる姿を見た時どんな気持ちになるのでしょうか？）

確か2年後三中の敷地が一部返還されバラックができた時行く高学年の喜びは最高になった。一部が無理して全学年が引っ越しした時皆の顔に笑顔が最高に燃えた、自分たちの学校だ！しかし朝礼に立った校長の顔は疲れ果てた青白い肌誰が見てもお疲れ果てた顔がそこにあった。全校舎の一部グラウンドや講堂は勿論ない教室の窓の外はアメリカのグラウンド、ボールが出たら諦めるしかない、偶然に好いアメリカ人は投げ返してくれたが私は一度しか見ていない。彼らはグラウンドを意のまま使い、大声で声を掛け合う、同時に朝鮮中国など街をルールなしに騒ぐ。日本の警察は見てみぬふり。終戦の後2～3年は大変でした。校長の働きはまさに心体力の限界でしょう大変な大変な時期であつた。宮田校長は東北？の故郷？に帰った。離任式に涙をながして挨拶していた。私は宮田校長引退の後御自宅にお伺いしたら涙を流してよるこんでくれた。（これは母の入知恵でしたが勿論肺炎で別室で試験を受けさせてくれた恩もあります。その時初めて学校返還、校舎建設時の苦勞をされたことが分かった（本当に本当にご苦勞さまでした）

勿論自分の校舎での活躍は目覚ましい。野球部、陸上部、進学も皆さん頑張りました。宮田先生ありがとうございます。

進学は（飯島先生など 補習暗くなるまでご指導いただきお蔭様で皆第一希望の合格が多かった）

6年間県立緑ヶ丘高校の生徒として学習した経験、死んでも忘れません。

#### 活動報告

1、東急グループ、レストラン支配人 2、国学院高校 3、公立中学 4、公立高校（教諭。教頭、校長）

2、東北大震災支援の為、フランス、ドイツ、アメリカ、カナダなどに行く

東北震災で東北に長期、その資料を持ってヨーロッパ（パリー大学で展示1か月間）報道に乗りヨーロッパからアメリカ、カナダから誘いがありその年は誘い頂いた国に行き展示説明などを開催して日本を支援いただいた。（すべて先方の意を汲んで地方公共団体を紹介し直接支援行動をお願いした。基本的には資産などを公共自治体に直接してもらった。国名はフランス、ドイツ、カナダ、アメリカ（教え子—アメリカ人が仲介）その他（地元と被災地と結んだ）結果手数料などなく直接支援いただいた。その方法で賛否されフランスドイツカナダでは各国から賞賛された。日本国の賞も頂いた（道を作って現状をその国の大学などで開催した。結果日本、フランスなど賞をいただいた。

3、宮田先生は校長を辞して東北の土になりました。私は日本の敗戦を身に染みて感じています。その心をフランス、ドイツ、アメリカ、イタリー等に展示してまわりました。

4、ドイツ、フランスなどでは大切に対応してくれました。一周回り（受けてくれる国に）賞をいただきました。平和の大切を身に染みて体験しています。フランス、カナダなどはトップとお会いしました。本当に宮田直次郎校長があつてのことですから人生絶対に忘れません。「ありがとうございました！！」宮田先生安らかにお休みください！！

掲載年月日 2024年2月20日  
掲載責任者 池田 加津男（高21期）